

## 中野区構造改革実行プログラムの取組状況について

基本構想で描く「10年後に目指すまちの姿」の実現に向けて、行財政の構造的な改革を集中的に進め、持続可能なサービス展開を図るため、令和3年8月に構造改革実行プログラム（以下、「実行プログラム」という。）を策定し、5つの戦略と28の個別プログラムを設定し、取組を進めている。

予算編成過程においては、新規事業と既存事業の見直しを一体的に行うビルド・アンド・スクラップを行うとともに、構造改革の視点を踏まえた見直し等による経費削減や効率化等による財政効果を示すこととしており、これらの状況を取りまとめたため報告する。

### 1 実行プログラムに基づく取組の財政効果

実行プログラムに基づく取組は中長期的な取組による財政効果を見込んでいる。このうち、令和4年度及び5年度の経費及び財政効果を以下のとおり試算した。

(単位：百万円)

戦略	戦略名	番号	主な個別プログラム	事業費 (一般財源)	財政効果
I	デジタルシフトによる区民サービスの向上と効率的な行政運営	1	新区役所を契機とした来庁者への窓口サービス迅速化と事務効率化	575	293
		2	来庁しなくても受けられる行政手続の充実(オンライン化の推進)		
		5	多様な手段による効果的な区政情報の発信		
II	公助の体制強化と共助の促進	6	地域スポーツクラブの考え方(運営形態等)の見直し	493	0
III	施設のあり方検討と適正な配置・管理	1	区有施設の財産経営	518	1,108
IV	組織体制の最適化	1	人事権限の集約化、機動的な人員配置	17	21
V	安定的な財政運営と財源創出	1	債権管理体制の強化	62	338
		4	予算科目の見直しによる事務の効率化、執行率の向上		
合計				1,666	1,759

(財政効果1,759百万円の内訳)

- ・見直し等による経費の削減額 595百万円
  - ・新たな歳入確保等による財政効果額 827百万円
  - ・効率化等による労働時間の削減で得られる財政効果額(人件費相当額) 337百万円
- ※「財政効果」は現時点において試算可能なものに限る。  
 ※表示単位未満を四捨五入しているため、表示数値から算出する合計値と合計欄の値が異なる。

## 2 予算編成過程におけるビルド・アンド・スクラップの状況

令和4年度予算で検討中の主な取り組み（案）で掲げた事業等について、構造改革の視点によるビルド・アンド・スクラップの状況は以下のとおりである。

(単位：千円)

主な事業名	見直し等の内容	事業費 (一般財源)	令和4年度予 算での削減額
観光事業の見直し	NAKANO Free Wi-Fiの廃止等	156,492	68,106
人権施策推進事業	人権啓発事業の実施方法の見直し		
平和事業	既存事業の実施方法の見直し		
AI-OCRによる収納事務の効率化	会計年度任用職員の廃止等		
債権管理体制の強化（新たなメッセージ配信サービスによる納付勧奨）	SMS（ショートメッセージサービス）による既存の納付勧奨の見直し		
民間保育施設の新規開設支援	認可保育所整備等に係る補助制度の見直し		
高断熱窓・ドア助成事業	高断熱建築物認証制度の廃止		
食品ロス削減推進計画の策定	ごみ組成分析調査の休止		
その他	一斉情報配信システムの新規導入（既存配信ツールのランニングコスト削減）等		

※ビルド・アンド・スクラップは以下を指しており、これに伴い捻出された財源を「令和4年度予算での削減額」に計上している。

- ・新規、拡充事業の要求に伴う既存事業の見直し（廃止、縮小、執行方法の変更等）
- ・既存事業における執行方法の見直しや歳入確保等

※令和4年度予算で検討中の主な取り組み（案）で掲げていない事業等は「その他」としている。